



CORPORATE REPORT 2019

2019年12月期
第3四半期決算報告

2019年1月1日



2019年9月30日

GMOINTERNET

証券コード：9449

強みを伸ばして
成長を加速し、
グループ事業の
持続的な発展へ。

代表取締役会長兼社長・グループ代表

熊谷 正寿



売上高・営業利益・経常利益共に過去最高を更新

当第3四半期累計期間(1-9月)の連結業績は、売上高が1,470億円(前年同期比7.2%増)に達し、2桁の増益を果たした営業利益・経常利益とともに同期間の過去最高業績を更新しました。

主な要因であるインターネットインフラ事業は、総契約件数が本年の3月末に1,000万件に到達し、足元は1,093万件と毎月10万件を超えるご契約をいただいています。決済事業は、既存の決済代行の好調に加え、銀行Payなど金融機関向けビジネスが好調。アクセス事業は光回線の販売が引き続き好調に推移し、業績をけん引いたしました。

インターネット金融事業は、FX取引高の復調時に過去最高水準の収益を計上するなど継続的に取り組んできた収益率改善施策が成果に繋がっています。これらに加え、インキュベーション事業における投資先株式の売却益計上が利益を押し上げました。



一方、インターネット広告・メディア事業は、既存の自社メディアの提供中止や自社アドネットワーク商材の広告掲載基準の厳格化などにより軟調に推移いたしました。

仮想通貨事業は仮想通貨マイニング事業の再構築によるコスト削減効果に加え、仮想通貨交換事業におけるレバレッジの引き下げの影響を吸収し一定の利益を確保いたしました。

今期は当社グループの第2本社「渋谷フクラス」に、金融・決済の中核会社を中心に点在する各社を集約し、更なるグループシナジーの創出に取り組み、成長を加速してまいります。

連結業績ダイジェスト (2019年7月1日▶2019年9月30日)

▼第3四半期決算のポイント

| 当第3四半期 | |
|---|--|
| 売上高 | 営業利益 |
|  50,975 百万円 |  8,972 百万円 |
| (前年同期比 11.1% 増) | (前年同期比 62.1% 増) |

▼セグメント別の概況 (単位百万円、カッコ内は前年同四半期比増減率)

| インターネットインフラ事業 | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 売上高 28,544 (12.1% 増) | 営業利益 3,762 (28.4% 増) |

当四半期のポイント

- 引き続き成長を維持、四半期売上高・利益の過去最高を更新
- 決済とアクセスの伸長に加え、マーケティングコストの変動も寄与

| インターネット広告・メディア事業 | |
|----------------------------|-------------------------|
| 売上高 11,315 (1.3% 減) | 営業利益 64 (9.3% 増) |

当四半期のポイント

- 自社アドテク商材が復調を示すも自社メディアが弱含み苦戦
- 中小企業向け既存商材の販売終了も影響、増益ながら低水準

| インターネット金融事業 | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 売上高 7,958 (6.2% 増) | 営業利益 2,919 (12.9% 増) |

当四半期のポイント

- 外国為替市場のボラティリティ上昇を受けてFX取引高が増加
- FX取引の収益率は過去最高水準に達し、増益に大きく寄与

| 仮想通貨事業 | |
|----------------------------|----------------------------|
| 売上高 1,572 (40.0% 減) | 営業利益 424 (307.5% 増) |

当四半期のポイント

- 仮想通貨交換は証拠金取引のレバレッジ引き下げにより減収
- 仮想通貨マイニングは事業再構築効果を保持し、黒字を継続

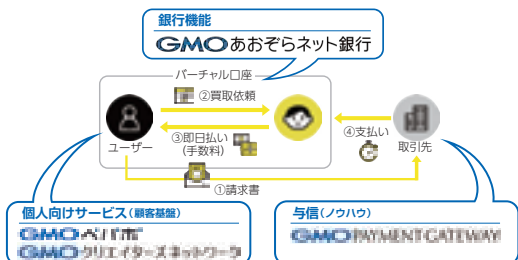
クローズアップサマリー

▼インターネットインフラ事業

インフラ×金融「FREENANCE」でグループの強みを発揮

「FREENANCE」はGMOクリエイターズネットワークの提供するフリーランス向け金融支援サービスです。本サービスは、フリーランスのお客様から請求書・売掛債権を買い取り、即日払いさせていただくことでお客様のキャッシュ・フロー改善に寄与するものです。

GMOペパボおよびGMOクリエイターズネットワークが有するフリーランスの「顧客基盤」、GMOペイメントゲートウェイが発揮する「与信ノウハウ」、そしてGMOあおぞらネット銀行が提供する「銀行機能」を組み合わせる形でグループ各社の強みを活かし、既存の金融サービスにない価値を生み出しています。



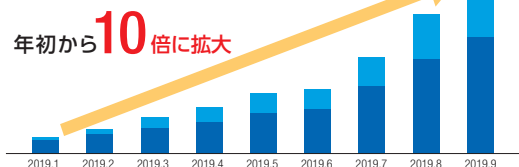
「FREENANCE」による請求書買取額の月間実績は、サービス開始当初の2019年1月から同9月までの間で、約10倍に成長しました。リピーターによる利用率も極めて高く、準ストック型ビジネスとしての収益拡大が期待できる状況です。

当社グループは、引き続き与信データを積み上げながら、請求書買取額の上限引き上げや新規集客への取り組みを進めていくことで、「FREENANCE」の伸長を目指します。また、インフラ事業において1000万件を超える岩盤顧客基盤と金融サービスの掛け算により成長を加速してまいります。

ネットインフラ インフラ×金融「FREENANCE」

請求書買取額の推移

■ 初回利用者 ■ リピーター



トピックス

GMOアスリーツがニューイヤー駅伝出場権獲得!

駅伝に参入した実業団チーム「GMOアスリーツ」は、2019年11月開催の「第60回東日本実業団対抗駅伝競走大会」に初出場し、5位でフィニッシュを果たしました。

本大会は、12位以内の成績を収めたチームが2020年元旦に開催される「第64回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)」の出場権を獲得できるもので、全26チームが出場し、7区間・76.9kmのコースを激しく争いました。「GMOアスリーツ」は、区間賞を受賞した渡邊利典選手をはじめ、全員が実力を発揮した結果、3時間43分58秒(5位)で同出場権を見事獲得しました。

次はニューイヤー駅伝で、チーム一丸となり『初出場・初優勝』を目指します。



GMOアスリーツの活動については、
こちらからご確認ください。

<https://athletes.gmo.jp/>



第2本社「渋谷フクラス」にグループ各社を集約

当社グループは、渋谷区桜丘町の本社「セルリアンタワー」に加え、周辺に点在していた各社を同区道玄坂に竣工した

「渋谷フクラス(SHIBUYA FUKURAS)」に集約すべく、2019年11月より順次移転を開始しました。

今後は「セルリアンタワー」を第1本社、「渋谷フクラス」を第2本社とする2棟体制によって、グループ各社の連携を強化しつつ、業務の更なる効率化を図ってまいります。



株主様向けインフォメーション

1 四半期配当

期初方針に基づき7.2円の配当

| (単位：円) | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 配当総額 |
|--------|----|-----|-----|------|------|
| 2019年 | 6 | 6 | 7.2 | — | 19.2 |
| 2018年 | 6 | 6.2 | 5.5 | 11.8 | 29.5 |

2 株主優待

6、12月末日において1単元以上所有の株主様に対し、株主優待関連書類を郵送にて送付しています(郵送の目安:6月末→9月下旬/12月末→3月中旬)。

※株主優待の申請手続きや、より詳しい情報につきましては株主優待申請サイトをご確認ください。▶ <https://yutai.gmo.jp/>

3 お問い合わせ先

● 株主優待はこちら(GMOインターネット株式会社 株主優待事務局)

専用ホームページ <https://yutai.gmo.jp/>

お問い合わせ先 03-3461-2222

(受付時間:土日祝祭日及び会社休業日を除く平日10:00~18:00)

● 株式事務手続きはこちら(三菱UFJ信託銀行株式会社)

0120-232-7111(東京) 0120-094-777(大阪)

● 上記電話番号がご利用できない場合

042-204-0303(通話料有料)

(受付時間:土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)

2019年12月期定時株主総会のご案内

次回の株主総会は2020年3月開催を予定しております。

当社は、株主総会を株主の皆様と直接対話できる貴重な機会として、多くの皆様にご来場いただけることを願っております。

詳細は12月末時点の株主名簿に記載の株主さま宛に別途ご案内申し上げます。

